

健康経営と労働安全衛生について

1. 健康経営の目的

(1)健康経営で解決したい経営上の課題

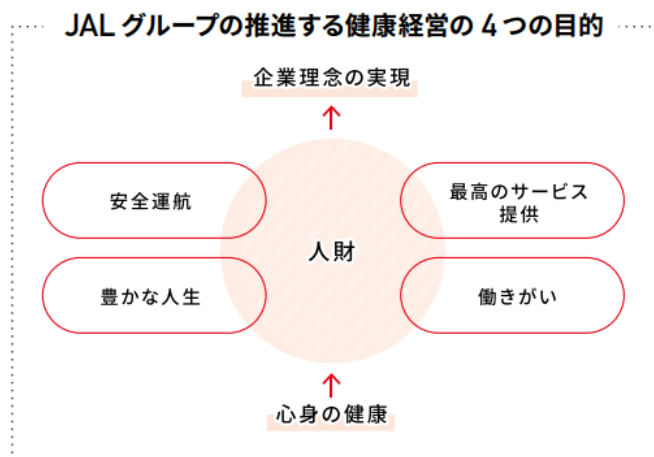
- ①社員と家族の心身の健康増進。
- ②個人・組織のパフォーマンス向上。

JALグループの一員として、「安全」「安心」を確実に実現し、仲間と想いをひとつに、地域に根差した新しい挑戦・新しい価値の創造にまい進します。

そのため、全ての社員と家族の心身の健康は何より尊く大切なものであるとの認識に立ち、一人一人が生き生きとワクワク感を感じ、安心して働き続けることができる職場環境を社員とともに、創っていくことを取り組みます。

(2)期待する効果と健康経営全体の目標指標について

健康経営の取り組みを通じて育まれた健康で活力あふれる社員がパフォーマンスを最大限発揮できる会社を目指します。このため、健康経営全体の目標を社員のパフォーマンス向上とし、アブゼンティーズム（病欠・病気休業日数）、プレゼンティーズム（生産性低下率）、ワーク・エンゲイジメント（仕事に対するポジティブで充実した心理状態）を最終的な健康経営の目標指標と定めています。



2. 当社の健康課題

健康保険組合から毎年提供される「Wellness レポート」の結果を踏まえ、当社具体的な健康課題を以下の通り特定しています。

- (1) 男性社員の肥満の割合が高い。
- (2) 男性における喫煙率の割合が高い。
- (3) ストレスチェック高ストレス者割合が高い。
- (4) 婦人科検診受診率の割合が低い。
- (5) 胃がん・大腸がん検診の受診率が低い。(男女共通)

3. 取り組み方針

健康課題を踏まえて、以下を全社方針としています。

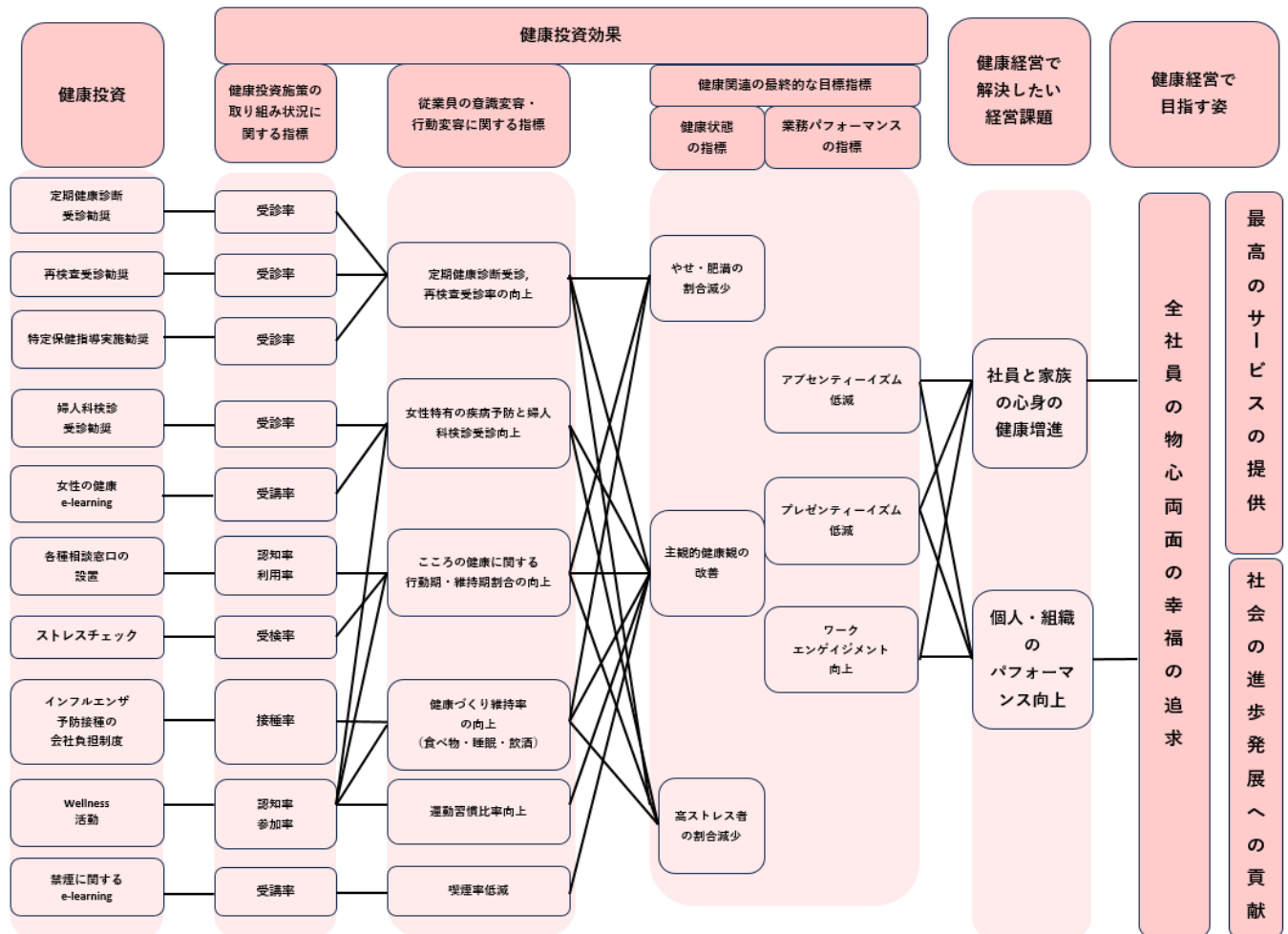
各職場に Wellness リーダーを配置し、社員・会社・健保の 3 者のベクトルを合わせて社員の健康増進を主体的に取り組みます。

- (1) 定期健康診断受診率 100%を必達するとともに、働くことで健康を害することがないように結果に応じたフォローアップ、医療機関への橋渡しなど、社員の安全を守るサポートを強化します。
- (2) ストレスチェック受検率 100%の必達とメンタルヘルス対策を強化します。
- (3) 婦人科検診受診率の向上にむけ、女性の健康について取り組みを強化します。
- (4) 生活習慣病リスクの低減化に向けて活動を強化します。

【健康経営推進の戦略マップ】

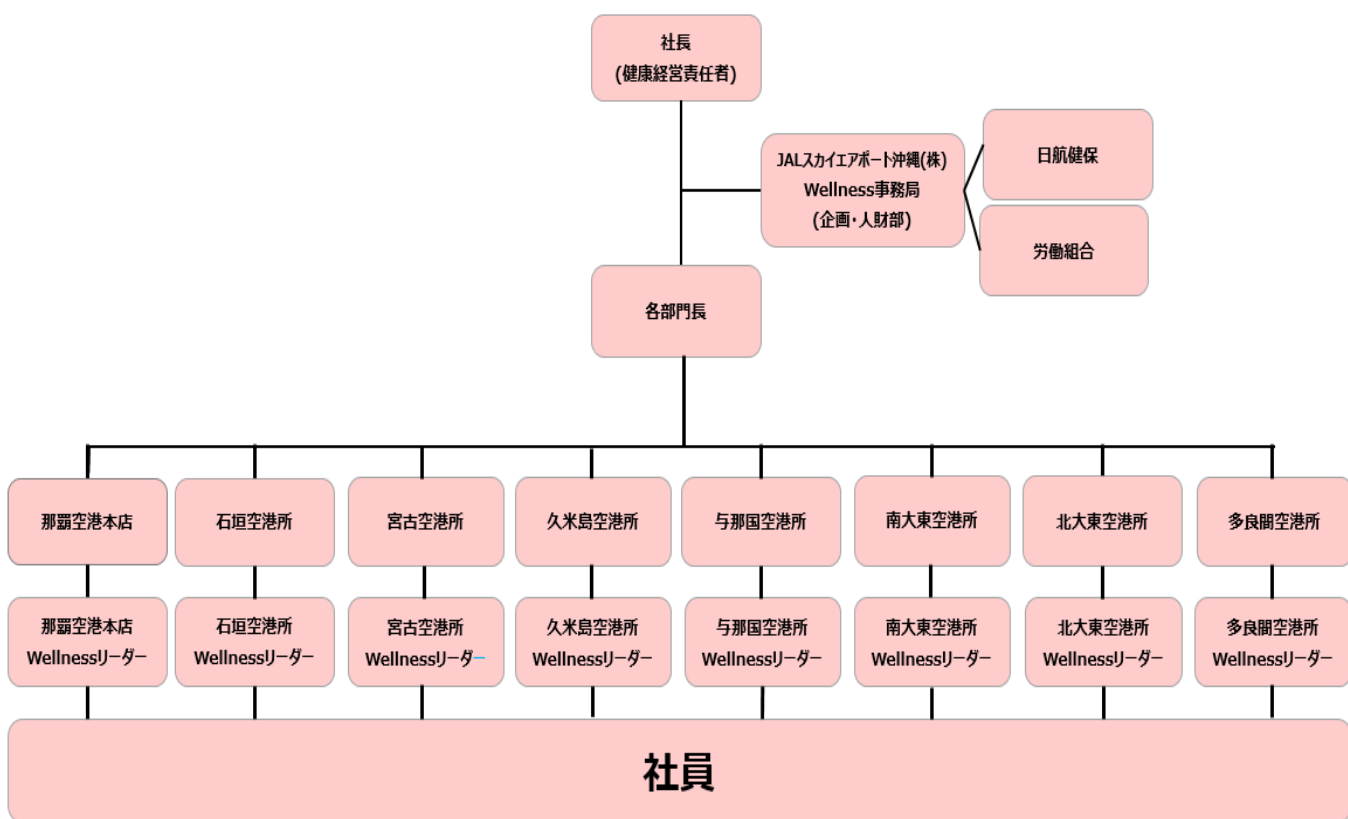
健康経営の課題解決につなげるための健康経営戦略について見える化しました。

※経済産業省が策定した「健康投資管理会計ガイドライン」の戦略マップを参考に作成しています。



4.推進体制

- (1) 社長を健康経営責任者とし、経営会議は健康経営の目的・全社方針・目標・取り組み・評価改善などPDCA全体に関与し、意志決定を行います。
- (2) 企画・人財部に専任の担当者を配置するとともに、すべての部門にWellnessリーダーを任命し、職場への浸透を促進します。
- (3) 健康保険組合との密接な連携によりコラボヘルスを推進します。
- (4) 労働組合との定期的な情報共有、協議を行い、効果的な健康経営の実践を推進します。



5. 主な取り組み内容と結果

1	社内会議にて健康経営方針等の発信	健康経営の社内浸透
2	定期健診・特定健診・任意健診（対象者）への受診勧奨の実施	生活習慣病・がん・女性の健康における検診受診率向上
3	特定保健指導実施対象者の個別実施勧奨	生活習慣病予防のための特定保健指導実施率の向上
4	管理職を対象とした女性の健康に関するセミナー動画配信を実施 受講率：100%	女性の健康 健康リテラシー向上
5	Wellness リーダーミーティング・Wellness 活動 ① 本気のラジオ体操 実施日：毎週水曜日 参加率：100% ② ランニング&ウォーキングイベント ③ 健康情報の発信 20回/2023年度 ④ 健康増進のスポーツサークル (バレーボール・フットサル・サッカー・バスケット・野球)	Wellness 活動の推進 コミュニケーション向上 生活習慣病予防
6	部門や職種、垣根を越えたコミュニケーション 地域活性化に向けた社外活動 ① フリーアドレス ② ボランティア活動 a. 各地トライアスロン大会・マラソン大会エイドステーション設置 ※石垣島・宮古島 b. 久米島マラソン（コースの草刈り） c. 育林活動※宮古島 d. ビーチクリーン活動※石垣島・宮古島・久米島・与那国島 ③ 各地ハリー大会の出場 ④ 各地エイサー・まつり等の参加	社内外のコミュニケーション向上
7	健康リテラシー向上施策 ① 食生活改善にむけた支援（腹八分目デーの設定） ② 生活習慣病予防の情報発信 （禁煙デー※スワンスワンデーの設定） ③ 飲酒・禁煙・生活習慣に関する e-learning ④ 各空港所 血圧計設置 ⑤ インフルエンザワクチン費用補助 投資額：440,498円	健康リテラシー向上

6.指標および目標値

(1) 健康課題に対する指標および目標値

(JALグループ健康推進計画 JAL Wellness2025 の目標値を設定しています。)

健康課題	計測している指標	対象者	最終目標値 (2025年度)	実績値		
				2021年度	2022年度	2023年度
生活習慣病	肥満率	男性社員	15%未満	36.6%	35.3%	36.1%
		女性社員		11.8%	12.6%	13.7%
	特定健康診断受診率	社員	80%以上	96.2%	95.9%	98.7%
	特定保健指導実施率	社員	65%以上	18.0%	17.7%	27.3%
がん	胃がん検査受診率	社員 (35歳以上)	70%以上	34.7%	36.8%	45.5%
	大腸がん検査受診率	社員 (35歳以上)	80%以上	74.7%	76.6%	76.6%
女性の健康	乳がん検査受診率	女性社員 (18歳以上)	70%以上	28.0%	33.2%	26.8%
	子宮がん検査受診率	女性社員 (18歳以上)	60%以上	32.0%	38.8%	28.3%
メンタルヘルス	高ストレス者割合	社員	5%未満	5.3%	6.9%	5.6%
たばこ対策	喫煙率	男性社員	20%未満	34.4%	33.3%	33.1%
		女性社員	3%未満	5.3%	3.7%	3.5%

(2) 健康・就業関連の指標および目標値

健康項目	指標	対象者	最終目標値 (2025年度)	実績値		
				2021年度	2022年度	2023年度
健康リテラシー	(e-learning 教育受講率)	社員	80%以上	100%	—	97%
ライフスタイル (特定検診の 問診)	運動習慣	社員	63%以上	53.0%	53.4%	57.9%
	休養が取れる睡眠	社員	80%以上	72.5%	65.7%	57.3%
	適度な食べる速度	社員	70%以上	69.7%	69.4%	70.7%
	適度な飲酒習慣	社員	90%以上	87.8%	89.2%	88.0%

(3) その他、健康・就業関連指標

健康・就業関連の指標	実績値		
	2021 年度	2022 年度	2023 年度
定期健康診断受診率	99.9%	99.9%	100%
ストレスチェック受験率	98.2%	98.1%	100%
年間時間外労働時間（年間総残業時間÷社員数）	1.3 時間	4.2 時間	6 時間
有給休暇取得率 （年次有給休暇取得日数÷年次有給休暇付与日数×100）	86.3%	84.7%	97.9%

(4) 健康経営の最終的な目標指数

就業項目	測定方法	対象者	最終目標値 (2025 年度)	実績値		
				2022 年度	2023 年度	2024 年度
アブゼンティーイズム	従業員アンケートによる 病気での平均欠勤日数	社員	2.0 日以下	—	—	3.0 日
プレゼンティーイズム	東大 1 項目版による 生産性低下率	社員	20%以下	—	—	22%
ワーク・エンゲイジメント	新職業性ストレスチェックの ワーク・エンゲイジメントに 関する把握	社員	3.0 以上	—	—	2.9

※業務パフォーマンス指標に関する測定人数および回答率について（2023 年実績値）

アブゼンティーイズム、プレゼンティーイズム、ワーク・エンゲイジメントともに全社員（1,160 名）を対象にアンケートを実施し、927 名が回答。（回答率 80%）

7.労働安全衛生

安全衛生はすべてに優先する事業運営の基盤であるとの方針の下、「安全衛生規程」に基づく安全衛生活動を推進しています。

- (1) 本社ならびに各事業場において安全衛生委員会を毎月開催しています。
- (2) 労働災害防止に向けて、安全情報データベースの社内システムに基づき、各事業場でリスクアセスメントにより危険源を特定し、リスク評価の結果を元に、計画・実行・評価改善の PDCA を回しています。当社における主なリスクは、事業場内の転倒災害および はさまれ・巻き込まれ災害となります。
- (3) 衛生管理については、定期健康診断およびストレスチェックについて事後措置を含めた適切な実施に加え、健康増進およびメンタルヘルス対応による職場改善、感染症対策に努めています。

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
労働災害発生件数	5 件	5 件	8 件

以上